

京都自然教室 水生生物調査 記録用紙 ※3

調査名	京都自然教室 第400回観察会 高野川の水生生物・定点調査
調査人数	42人
調査記録者名	観察会参加者+京都自然教室スタッフ

指標生物					調査地点の概要 (生物を採集した場所の状況について記入して下さい)		
階級	番号	生物名	※1	見つけた数	調査日時		
水質階級 I ※2	1	アミカのなかま			2019年 8 月 4 日 9:30~12:00 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	高野川	
	2	ウズムシ(プラナリア)のなかま	○	7			
	3	カワゲラのなかま	○	2	八瀬(叡電・八瀬比叡山口駅周辺)	天気 ■ はれ □ くもり □ 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	4	サワガニ	●	23			
	5	ナガレトビケラのなかま	○	1	約 26.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	川幅 約 15.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	6	ヒラタカゲロウのなかま	○	4			
	7	ブユのなかま			約 20 ~ 40 cm 採集した場所の平均的な水深を記入して下さい	生物採集場所 ■ 川の中心 ■ 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採集した場所をチェックして下さい	
	8	ヘビトンボ	○	1			
	9	ヤマトビケラのなかま	○	3	以下は、生物を採集した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
水質階級 II	10	イシマキガイ(汽水域)	-	-	流れのはやさ □ 速い(毎秒60cm以上) ■ 普通(毎秒30~60cm) □ 遅い(毎秒30cm以下)	川底の状態 ■ 頭大の石が多い ■ こぶし大の石が多い □ 小石と砂 □ コンクリート □ 砂と泥 □ 泥 □ コケ □ その他	
	11	オオシマトビケラ					
	12	カワニナのなかま	●	24	水のおい ■ においは感じられない □ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような特異なおい)	水にごり ■ 透明またはきれい □ 少しにごっている □ 大変にごっている	
	13	ゲンジボタル					
	14	コオニヤンマ	○	20	昨年度の調査結果 (2018年8月5日) ■ 同じ場所 □ 違う場所() 昨年度の水質階級は ■ I □ II □ III □ IV ●印の付いた指標生物名は カワニナ(多数)、サワガニ(16)		
	15	コガタシマトビケラ					
	16	スジエビ	○	6			
	17	ヒラタドロムシ	○	1			
	18	ヤマトシジミ(汽水域)	-	-			
水質階級 III	19	イソコツブムシ(汽水域)	-	-			
	20	タイコウチ					
	21	タニシのなかま					
	22	ニホンドロソコエビ(汽水域)	-	-			
	23	ヒルのなかま					
水質階級 IV	24	ミズカマキリ					
	25	ミズムシ					
	26	アメリカザリガニ					
	27	エラミミズ					
	28	サカマキガイ					
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV	
	1. ○印と●印の個数		7	4			
2. ●印の個数			1	1			
合計(1欄+2欄)			8	5			
この地点の水質階級は			I です				
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)				魚類、両生類など			
■ I : ヒゲナガカワトビケラ (32)				■ II : ガガンボ幼虫 (2)			
■ I : ニンギョウトビケラ (13)				■ II : ハグロトンボ (1)、成虫 ()			
■ I : ナベブタムシ ()				■ II : サナエトンボの仲間(ヤゴ) (3)			
■ I : アメンボの仲間 (3)				■ II : コヤマトンボ (7)			
■ I : ミヤマカワトンボ 成虫 (1)				■ II : チラカゲロウ (1)			
□				□			
□				□			
水草類				鳥類			
□				□			
□				□			
□				□			
				その他、気づいたこと			

※1) 1個体でも見つかった指標生物に○印、全体で数が多かった上位2種類(同数の場合は3種類まで)に●印をつけて下さい

※2) 水質階級 I :きれいな水、II :少し汚れた水、III :汚れた水、IV :たいへん汚れた水

※3) 本調査用紙は環境省・国土交通省の水生生物調査票、水生昆虫の観察(トンボ出版)を参考に改変しています